



## 平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 (株)アルバック

コード番号 6728 URL <http://www.ulvac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 諏訪 秀則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 本吉 光

TEL 0467-89-2033

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	59,683	7.1	△188	—	282	△85.1	233	△81.2
23年6月期第1四半期	55,747	65.7	2,040	—	1,889	—	1,238	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 △2,101百万円 (—%) 23年6月期第1四半期 △8,931百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	4.71	—
23年6月期第1四半期	25.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	315,989	89,716	27.2
23年6月期	313,616	92,023	28.1

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 86,055百万円 23年6月期 88,206百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	—	—	0.00	0.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	121,000	1.4	2,500	150.5	2,120	163.0	400	—	8.11
通期	235,000	1.3	7,000	278.4	6,280	335.8	3,100	—	62.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.6「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期1Q	49,355,938 株	23年6月期	49,355,938 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	10,405 株	23年6月期	10,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期1Q	49,345,533 株	23年6月期1Q	49,345,562 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)  
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	10
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	14
(5) セグメント情報等 .....	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	15
4. 補足情報 .....	16
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	平成23年第1四半期	平成24年第1四半期	前年同期比(増減率)
受注高	60,354	39,139	△35.2%
売上高	55,747	59,683	7.1%
営業利益	2,040	△188	—
経常利益	1,889	282	△85.1%
四半期純利益	1,238	233	△81.2%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サプライチェーンの立て直しに加え、個人消費の持ち直しなど一部に回復に向けた動きは見られたものの、電力供給の抑制をはじめとする東日本大震災の影響、円高の長期化、海外景気の下振れ懸念などにより、本格的な回復には至りませんでした。米国では、失業率の高止まりや、それに伴い個人消費の伸びが低下したことなどの影響を受け、回復は減速傾向となりました。欧州では、金融システムに対する不安や厳しい雇用環境により低調なまま推移いたしました。中国では、依然として内需を中心に拡大しているものの、その拡大ペースはやや減速してまいりました。

このような状況において、当社グループの主要なお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)業界では、大型テレビ市場の低迷により、大型液晶テレビ用の設備投資が停滞しているものの、スマートフォンやタブレットPCなどのモバイル機器の販売が好調に推移し、アジア地域を中心に中小型液晶ディスプレイや有機ELディスプレイへの設備投資は堅調に推移いたしました。半導体業界では、引き続きPC需要は低迷しているものの、スマートフォンやタブレットPCなどのモバイル機器の需要増加を背景にメモリ需要は堅調に推移いたしました。また、エネルギー・環境関連では、温暖化ガス排出量削減のため、太陽電池やハイブリッドカー・電気自動車(EV)などのエコカーに加え、パワー半導体や二次電池などの「エネルギー・デバイス」の需要が引き続き堅調でした。

当社グループは、このような経営環境に対処するため、FPD、半導体製造装置などの既存商品の商品競争力を高めるとともに、当社の成長戦略である「ポストFPD戦略」を引き続き積極的に推進いたしました。さらに、装置に依存する従来のビジネスに加え「脱装置・脱真空」ビジネスの拡大を図りました。また、新商品開発、抜本的なコストダウン、装置の「単純化、共通化、標準化」の推進、カスタムメイドのもの作りからの脱却をめざし、品質確保と追加原価の削減を図りました。

収益面では、お客様からの継続的な価格引き下げ圧力に加え、円高やアジアの製造装置メーカーとの厳しい価格競争の中、グループ全体での諸経費削減の徹底、設備投資の抑制など固定費を圧縮するとともに、生産改革を推進いたしました。具体的には、韓国、台湾、中国における生産促進などのグローバル生産体制の推進、現地調達率のアップ、最適な生産体制の構築などを実施し、効率化、コストダウンを図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高391億39百万円(前年同四半期比212億15百万円(35.2%)減)、売上高は、596億83百万円(同39億36百万円(7.1%)増)となりました。また、損益につきましては、営業損失1億88百万円(前年同四半期は20億40百万円の営業利益)、経常利益は、2億82百万円(前年同四半期比16億7百万円(85.1%)減)となり、四半期純利益につきましては、2億33百万円(同10億6百万円(81.2%)減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 「真空機器事業」

(単位：百万円)

	平成23年第1四半期	平成24年第1四半期	前年同期比(増減率)
受注高	49,389	28,956	△41.4%
売上高	46,490	50,293	8.2%
営業利益	2,925	△553	—

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

#### (FPD製造装置)

FPD関連では、アジア地域を中心に大型液晶TV用スパッタリング装置の売上を計上、また、モバイル機器に使われる中小型低温ポリシリコン(LTPS)TFT液晶ディスプレイ製造用のスパッタリング装置、プラズマCVD装置や有機EL製造装置の売上を計上するなど、総じて堅調に推移いたしました。受注に関しましては、国内向けにモバイル機器

に使われる中小型LTPS TFT液晶ディスプレイ製造用のスパッタリング装置やプラズマCVD装置などがありましたが、景気後退の影響を受け低迷いたしました。

(PV製造装置)

太陽電池(PV)関連では、日本、アジア向けに薄膜系や結晶系太陽電池製造装置を中心に売上を計上し、化合物系や結晶系太陽電池製造装置の受注があったものの、薄膜シリコン太陽電池一貫製造ラインの受注低迷が続き、厳しい状況のまま推移いたしました。また、急速に普及が見込まれるEV向け急速充電器やそれに太陽光発電を組み合わせた太陽光発電・急速充電システムの拡販活動を多方面に展開したことにより、引き合いが増加いたしました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体及び電子部品関連では、スマートフォンやタブレットPCなどの需要の増加を背景として、アジア地域、欧米などでメモリ用スパッタリング装置「ENTRON™-EXシリーズ」を中心に売上を計上いたしました。また、NANDフラッシュメモリの代替として期待されている不揮発性メモリ用製造装置やパワー半導体用製造装置の引き合いや受注がありました。一方、省エネ対応として照明や液晶ディスプレイ用バックライトなどに使用されるLEDの需要が中国を中心として急減速し、LED製造用エッチング装置や成膜装置などの受注、売上が減少いたしました。

(コンポーネント)

コンポーネント関連では、大型液晶ディスプレイ関連の投資計画延期の影響により、FPD製造装置用のドライポンプなどの受注が低迷いたしました。有機EL製造装置用のクライオポンプや民生用の小型ポンプ、計測機器関連の受注、売上が堅調に推移いたしました。

(一般産業用装置)

一般産業用装置関連では、中国にて希土類磁石製造用真空熱処理や真空溶解炉、真空蒸着装置の受注、売上が好調を維持いたしました。一方、タッチパネル関連の設備投資が一巡し、受注が減少いたしました。

その結果、真空機器事業の受注高は289億56百万円、受注残高は787億38百万円、売上高は502億93百万円となり、5億53百万円の営業損失となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	平成23年第1四半期	平成24年第1四半期	前年同期比(増減率)
受注高	10,965	10,183	△7.1%
売上高	9,257	9,390	1.4%
営業利益	△876	392	—

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

(材料・部材)

売上高の大半をしめる液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲット材料関連では、アジア地域を中心に受注、売上を計上いたしました。製造装置とのソリューションビジネスを積極的に展開する一方、パネルメーカーの減産や販売価格引き下げ圧力が強く、引き続き厳しい経営環境が続きましたが、リサイクルの推進や生産効率の向上などコスト削減を図り、収益が回復してまいりました。

(その他)

制御システム関連では、メタル、自動車業界向けの新製品投入や設備投資が回復基調となり受注が増加してまいりました。分析機器関連では、日本の民間企業や欧米の大学などの研究施設での受注が回復してまいりました。

その結果、真空応用事業の受注高は101億83百万円、受注残高は101億54百万円、売上高は93億90百万円となり、3億92百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、23億72百万円増加となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が42億77百万円増加したこと、たな卸資産が38億9百万円増加したこと、一方で、現金及び預金が29億4百万円減少したことなどです。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、46億80百万円増加となりました。主な内容は、支払手形及び買掛金が42億39百万円

増加したこと、短期借入金が151億90百万円増加したこと、一方で、コマーシャル・ペーパーが100億円減少したことなどがあります。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、23億7百万円減少となりました。主な内容は、その他の包括利益累計額が23億84百万円減少したことなどがあります。

## ②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加によるプラス要因に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加、前受金の減少によるマイナス要因などにより、55億30百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、31億20百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入、コマーシャル・ペーパーの減少などにより、64億26百万円の収入となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、29億11百万円減少し、328億12百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主要なお客様であるFPD業界では、薄型テレビ市場の低迷が続き、大型液晶ディスプレイの投資計画が大幅に延期されるなど、予断を許さない状況が続いております。一方、スマートフォン、タブレットPCなどの需要の増加にともない、中小型液晶ディスプレイ(LTPS TFT)や有機ELディスプレイの設備投資は引き続き好調を維持すると予想されるものの、景気後退の影響を受け、受注環境は厳しい状況になっております。半導体業界においては、DRAMやNANDフラッシュメモリなどのメモリへの投資が低迷が続いております。PV業界は、エネルギー政策の転換により期待がもたれるものの、中国メーカーによる大幅値下げで収益性の確保が困難となり、短期的には厳しい状況が継続するものと予想されます。PV以外のエネルギー・環境ビジネスは、ハイブリッドカー・EV関連の部品などが堅調に推移しており、中長期的な成長を予想しております。

第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、セグメント及び品目別売上高予想を以下の通り修正いたしますが、以上のような経営環境のため、平成23年8月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は修正いたしません。

(品目別売上高予想)

(単位：億円)

	第2四半期連結累計期間		通期	
連結売上高	1,210	(+1%)	2,350	(+1%)
真空機器事業	1,016	(+1%)	1,900	(-0%)
FPD製造装置	575	(+8%)	930	(-1%)
PV製造装置	46	(-59%)	165	(+2%)
半導体及び電子部品製造装置	152	(-2%)	298	(-11%)
コンポーネント	129	(-2%)	256	(-5%)
一般産業用装置	114	(+55%)	250	(+28%)
真空応用事業	194	(+2%)	450	(+7%)
材料・部材	95	(-8%)	220	(+10%)
その他	99	(+15%)	230	(+5%)
連結営業利益	25	(+151%)	70	(+278%)
連結経常利益	21	(+163%)	63	(+336%)
連結当期純利益	4	(-)	31	(-)

( )内は前年同期比、増減率。小数点以下は四捨五入

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,259	33,355
受取手形及び売掛金	80,489	84,766
商品及び製品	5,562	6,034
仕掛品	51,111	53,110
原材料及び貯蔵品	14,616	15,954
繰延税金資産	6,816	8,193
その他	6,989	5,187
貸倒引当金	△853	△967
流動資産合計	200,989	205,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,357	42,188
機械装置及び運搬具（純額）	21,070	21,184
工具、器具及び備品（純額）	2,126	2,031
土地	10,016	10,015
リース資産（純額）	1,583	1,481
建設仮勘定	8,944	8,563
有形固定資産合計	87,095	85,462
無形固定資産		
のれん	177	166
リース資産	10	51
ソフトウェア	2,023	1,925
その他	3,275	3,381
無形固定資産合計	5,485	5,523
投資その他の資産		
投資有価証券	4,605	4,344
差入保証金	1,945	1,923
繰延税金資産	8,763	8,553
その他	5,371	5,161
貸倒引当金	△639	△610
投資その他の資産合計	20,046	19,372
固定資産合計	112,627	110,357
資産合計	313,616	315,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,556	61,796
短期借入金	67,809	82,999
コマーシャル・ペーパー	10,000	—
リース債務	1,623	1,643
未払法人税等	1,703	1,393
前受金	15,393	11,164
繰延税金負債	7	11
賞与引当金	1,546	3,204
役員賞与引当金	172	65
製品保証引当金	1,623	1,714
受注損失引当金	2,598	3,751
事業構造改善引当金	353	51
災害損失引当金	164	79
その他	14,491	11,651
流動負債合計	175,039	179,521
固定負債		
社債	60	60
長期借入金	27,210	28,164
リース債務	2,809	2,474
繰延税金負債	27	30
退職給付引当金	13,990	13,750
役員退職慰労引当金	873	854
資産除去債務	289	289
その他	1,296	1,130
固定負債合計	46,553	46,751
負債合計	221,593	226,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	22,100	22,100
利益剰余金	50,829	51,061
自己株式	△11	△11
株主資本合計	93,792	94,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14	△182
為替換算調整勘定	△5,572	△7,787
その他の包括利益累計額合計	△5,586	△7,970
少数株主持分	3,818	3,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産合計	92,023	89,716
負債純資産合計	313,616	315,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	55,747	59,683
売上原価	44,384	50,028
売上総利益	11,362	9,654
販売費及び一般管理費	9,322	9,843
営業利益又は営業損失(△)	2,040	△188
営業外収益		
受取利息	22	67
受取配当金	39	71
受取手数料	26	11
受取賃貸料	40	24
受取補償金	—	539
持分法による投資利益	0	—
為替差益	23	—
その他	224	236
営業外収益合計	375	949
営業外費用		
支払利息	352	393
持分法による投資損失	—	6
その他	174	80
営業外費用合計	526	479
経常利益	1,889	282
特別利益		
貸倒引当金戻入額	43	—
その他	8	—
特別利益合計	51	—
特別損失		
固定資産除却損	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	209	—
その他	5	—
特別損失合計	214	—
税金等調整前四半期純利益	1,725	282
法人税、住民税及び事業税	1,399	1,049
法人税等調整額	△932	△1,158
法人税等合計	467	△109
少数株主損益調整前四半期純利益	1,258	391
少数株主利益	20	158
四半期純利益	1,238	233

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,258	391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△168
為替換算調整勘定	△645	△2,325
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	1
その他の包括利益合計	△710	△2,492
四半期包括利益	548	△2,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	592	△2,151
少数株主に係る四半期包括利益	△44	50

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,725	282
減価償却費	2,689	2,296
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△74	93
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,711	1,560
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△257	△228
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△263	△19
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△16	139
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	219	1,154
固定資産除却損	1	—
受取利息及び受取配当金	△61	△138
支払利息	352	393
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,835	△6,756
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,569	△4,919
仕入債務の増減額 (△は減少)	573	5,365
前受金の増減額 (△は減少)	1,507	△3,464
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△104	△65
その他	1,311	338
小計	△90	△3,971
利息及び配当金の受取額	72	138
利息の支払額	△308	△390
法人税等の支払額	△853	△1,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,180	△5,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△341	△15
定期預金の払戻による収入	1,189	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,409	△3,130
子会社株式の取得による支出	△484	—
その他	36	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,009	△3,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	21,118	15,749
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	△10,000
長期借入れによる収入	90	5,406
長期借入金の返済による支出	△4,207	△4,132
新株予約権付社債の償還による支出	△15,500	—
配当金の支払額	△831	△2
その他	△403	△595
財務活動によるキャッシュ・フロー	266	6,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174	△687

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,097	△2,911
現金及び現金同等物の期首残高	29,721	35,722
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	910	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,534	32,812

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,490	9,257	55,747	—	55,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134	1,101	1,235	(1,235)	—
計	46,624	10,358	56,982	(1,235)	55,747
セグメント利益又は損失(△)	2,925	△876	2,049	△9	2,040

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「真空応用事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に株式追加取得により日本リライア  
ンス(株)を100%子会社化したことに伴い、198百万円のものれんを計上しております。

(重要な負のものれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,293	9,390	59,683	—	59,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,127	888	2,015	(2,015)	—
計	51,420	10,278	61,698	(2,015)	59,683
セグメント利益又は損失(△)	△553	392	△161	△27	△188

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### a. 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（％）
真空機器事業	56,047	107.8
真空応用事業	9,483	95.1
合計	65,529	105.8

(注) 1. 金額は、販売価格をもって表示しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### b. 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（百万円）	前年同四半期比（％）	受注残高（百万円）	前年同四半期比（％）
真空機器事業	28,956	58.6	78,738	75.9
真空応用事業	10,183	92.9	10,154	109.3
合計	39,139	64.8	88,892	78.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### c. 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同四半期比（％）
真空機器事業	50,293	108.2
真空応用事業	9,390	101.4
合計	59,683	107.1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高（百万円）	割合（％）
FPD製造装置	27,528	54.7
PV製造装置	1,904	3.8
半導体及び電子部品製造装置	8,344	16.6
コンポーネント	6,912	13.7
一般産業用装置	5,605	11.2
計	50,293	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高（百万円）	割合（％）
材料・部材	4,559	48.6
その他	4,831	51.4
計	9,390	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。